

第4期日野市高齢者福祉総合計画の進行管理(R4実績・R5計画)について

・令和3年～5年までの3年間の計画期間の2年目実績と最終年の計画について

・柱1. 複合的な課題に対応できる地域包括ケアシステムの構築

進展した

No.	重点事業名	担当	R4 実績	R5 計画
1	地域ケア会議の推進	在宅支援係	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議」を開始し、全包括にて開催。高齢者の自立及び介護予防を阻害する地域課題や必要な地域資源抽出ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議から地域課題を抽出し、生活体制整備事業と連動しコロナフレイル対策、社会資源の情報の見える化(情報の整理と周知啓発媒体の作成)に取り組む
2	生活支援体制整備事業の実施	在宅支援係	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度より「互近助サービスちよこすけ」を開始した。 ・「互近助サービスちよこすけ」の団体交流会を実施し、活動の実際について情報交換した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「互近助サービスちよこすけ」の登録団体を増やすため、生活支援コーディネーターと連携し、立上げ支援をしていく。
3	高齢者見守り支援ネットワークの充実	在宅支援係	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りに関する説明会(2回)を実施し、見守り推進員の増加につながった。(15名増加) ・ふれあいサロン新規開設(1ヶ所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1の見守りサービスの周知を強化、見守り対象者と推進員双方の希望者を把握し、効果的なアプローチを行う。 ・見守りの機器については、機器設置の費用の助成を検討し、見守りを必要とする高齢者を支援できる体制を整えていく。

・柱2. 介護を支える担い手の確保と介護保険事業サービスの充実

概ね進展した

No.	重点事業名	担当	R4 実績	R5 計画
1	介護人材確保事業の実施	介護給付係	・「生活援助型スタッフ研修」を実施し、市内介護事業所とのマッチングを行った。	・生活援助型スタッフ研修について、10名程度を定員として研修を実施し、あわせて事業者とのマッチングを行う。
2	資格取得支援事業の実施	介護給付係	・各資格の合計 67 名に対して介護資格取得補助金支給を行った。	・資格取得費補助事業を継続して実施していく
3	介護予防・フレイル予防普及啓発事業	在宅支援係	・介護予防教室、体力測定会の実施を通じて、介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行った。	・高齢者の生活機能が低下しないよう介護予防・フレイル予防に資する基本的な知識の普及啓発や運動をはじめきっかけづくりを目的とした体操教室や講座等を継続して開催していく。
4	地域介護予防活動支援事業の推進	在宅支援係	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、社会福祉協議会の協力を得て介護予防活動団体の支援を行った。 ・既存団体へ体力測定会と専門職による健康相談会を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域介護予防活動団体の減少傾向があった。 	・介護予防・フレイル予防推進員を2名配置し、ひの筋体操のDVD配布、Zoomの利用などとあわせて地域介護予防活動の一層の推進を図る。

・柱4. 認知症や軽度認知障害（MCI）の当事者とその家族を支える仕組みの充実

概ね進展した

No.	重点事業名	担当	R4 実績	R5 計画
1	認知症の人と家族を支える機関との連携	在宅支援係	・認知症初期集中支援チーム連携会議を定期に開催し、事例の共有と対応方法について情報交換した。	・認知症初期集中支援チームの取り組みを推進し、関係機関との連携強化にも取り組む。
2	認知症サポーターの養成	在宅支援係	・認知症サポーターの養成を継続して行った。	・認知症サポーターの養成数の継続した増加を目指す。
3	チームオレンジの設置	在宅支援係	・新規で1か所目のチーム設置のための支援を行った。（新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現在も設置に向けて活動中）	・チームオレンジの新設支援を行う。令和4年度より相談を行っている団体へ支援を行い、年度内の新設を目指す。 ・当事者が気軽に集える場所（本人ミーティング）の実施に取り組む
4	認知症検診事業	在宅支援係	・対象年齢以外の早期発見・早期支援のため、対象者の拡充を図った。（日野市地域包括支援センターが検診を必要と認めた者を追加した。）	・認知症検診受診率の向上を図るため、事業を継続して進捗していく。
5	認知症かかりつけ医等の充実	在宅支援係	・新規医療機関に声がけし、認知症検診実施医療機関数が増加した。 ・医療機関用のポスターを刷新した。	・かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の認知症対応力の向上により、認知症の早期診断と適切な医療および対応を促進する。

・柱5. 高齢者が尊厳を保持し、健康で自立した生活を営むための支援の充実

やや進展した

No.	重点事業名	担当	R4 実績	R5 計画
1	日野人運動事業と地域介護予防活動支援事業（ひの筋体操等）との連携	在宅支援係	・高齢者（フレイル）向けの運動事業について、情報の取りまとめや情報発信の方法について見直しを行った。	・介護予防教室実施に当たり、健康課の保健師が参画するなどの連携を図るよう検討継続。
2	摂食嚥下機能支援の推進	在宅支援係	・ハイリスクアプローチ：専門職による個別支援を実施 ・ポピュレーションアプローチ：高齢者の通いの場においてフレイル予防に関する健康教育・健康相談を実施	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の推進を図り、健康課や関係機関との連携をさらに図っていく。

・柱6. 高齢者の安心・安全の確保

やや進展した

No.	重点事業名	担当	R4 実績	R5 計画
1	介護予防・フレイル予防普及啓発事業	在宅支援係	柱2の施策再掲	柱2の施策再掲